

3 西口周辺都市基盤整備

1 取り組み状況

○西口周辺都市基盤を整備するにあたっての検討課題

- ・新西口改札利用者の安全で円滑なアクセスの確保
- ・既存の駅周辺の歩行者・自転車への配慮
- ・地元住民の生活環境への配慮
- ・通過交通（自動車）への適切な対応

整備方針（素案）の策定

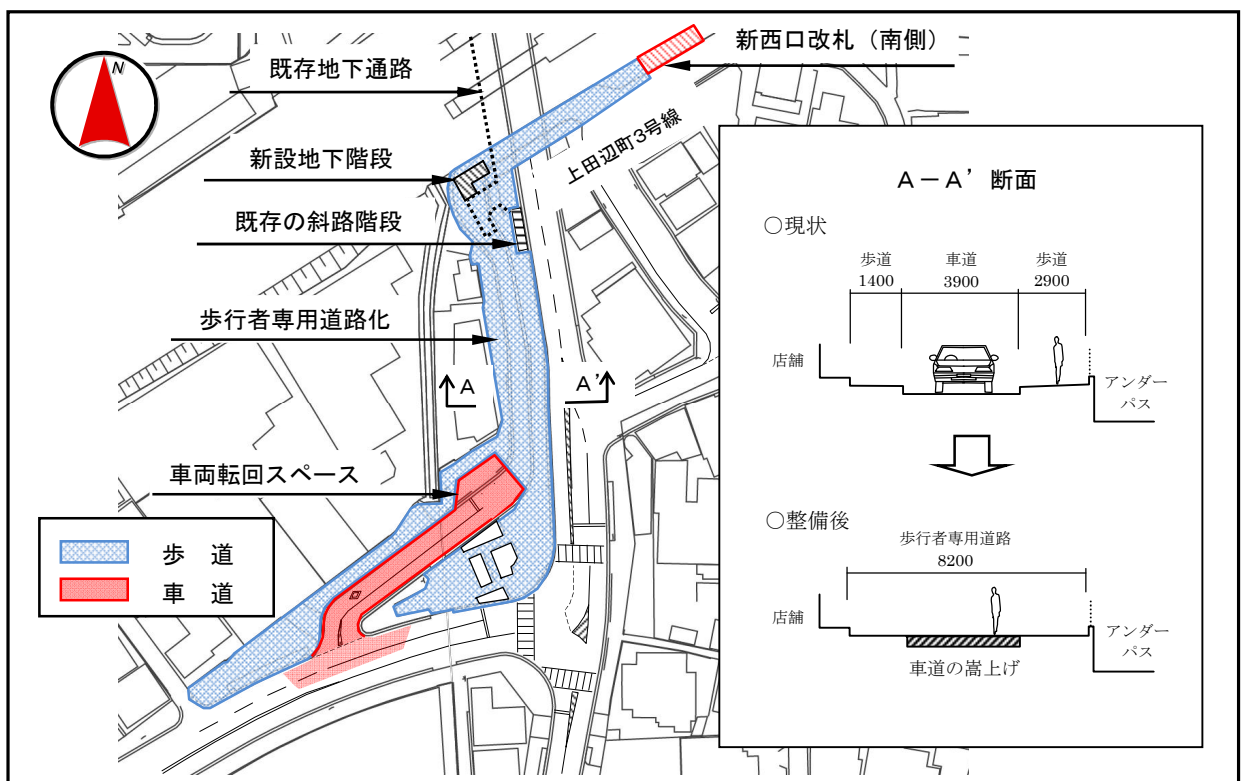
地元説明（平成 25 年 11 月～）

○整備方針（案）

- ・上田辺町 3 号線の一部を歩行者専用道路として再整備
- ・既存地下通路と新西口改札との連絡性を高めるため、屋根の設置や動線短縮化のための階段を設置

交通社会実験による周辺交通への影響の確認

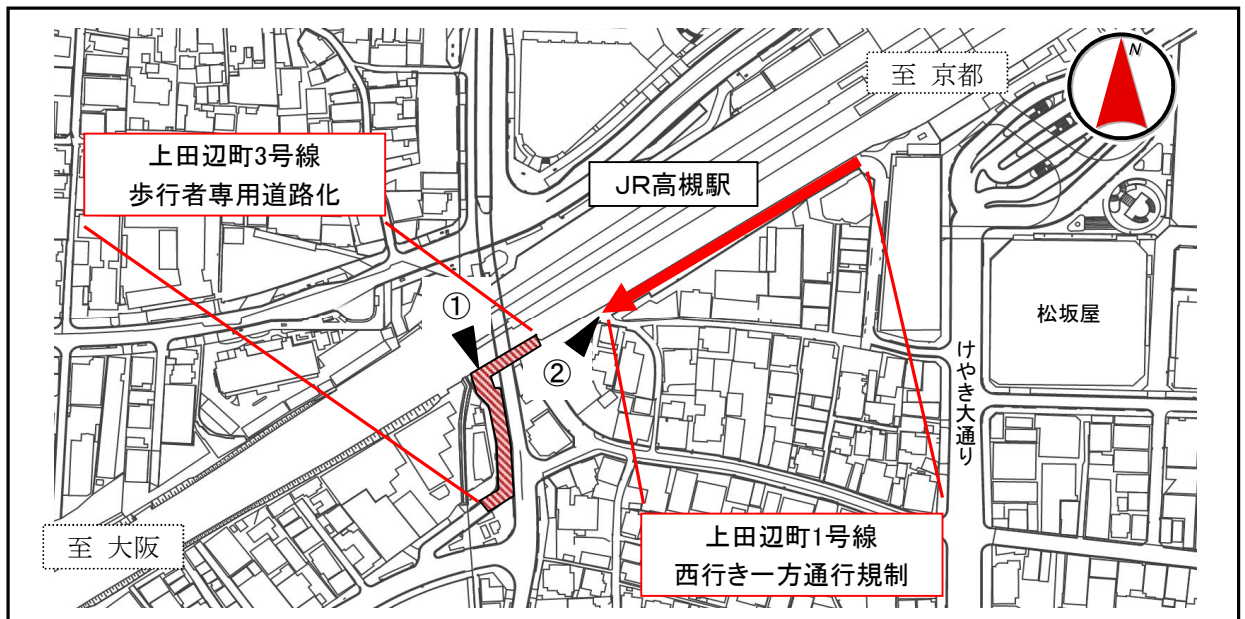
整備計画の策定



2 交通社会実験

2.1 実験概要

項目	概要
目的	上田辺町3号線の歩行者専用道路化等が周辺交通に与える影響の事前確認
期間	平成26年6月6日(金)～平成26年6月12日(木)(終日)
内容	上田辺町3号線の歩行者専用道路化 上田辺町1号線の西行き一方通行規制(地元要望)
周知	地元説明会, 広報たかつき, 立て看板, 横断幕, ポスター, チラシ 市ホームページ, CATV等 (平成26年5月1日(木)～)
影響把握方法	交通量調査 住民・事業所アンケート調査 [参考資料-1] 来訪者へのヒアリング調査 [参考資料-2]



位置図



① 上田辺町3号線の歩行者専用道路化



② 上田辺町1号線の西行き一方通行規制

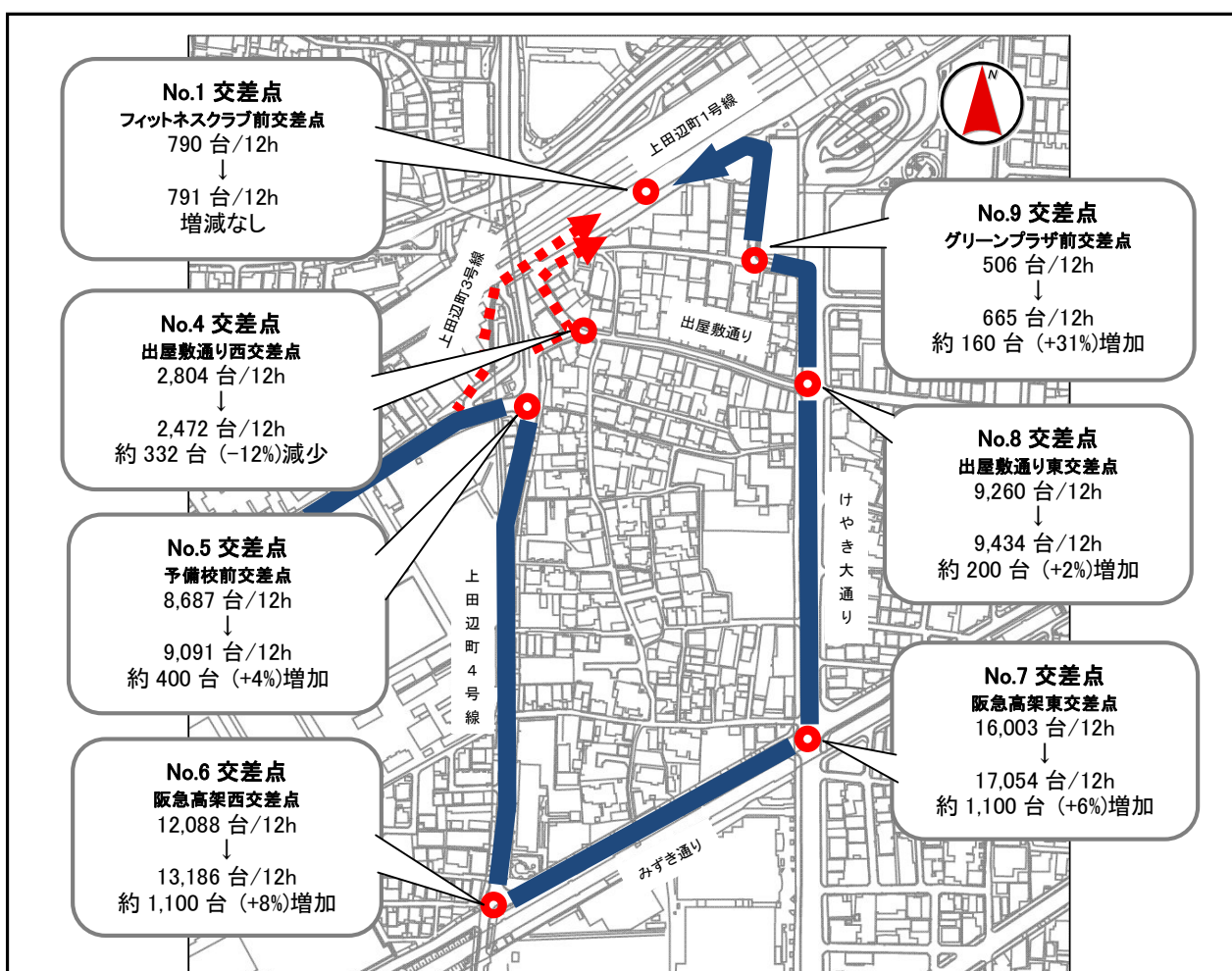
2. 2 交通量調査

(1) 調査結果

- 上田辺町3号線の車両通行止めにより、従来通行していた 769 台/12h が周辺道路に分散することになる。
- これにより、周辺交差点の交通量は、約 160 台 ~ 1,100 台 の増加となったが、大きな混雑は見られなかった。
- 出屋敷通りの交通量は、2,804 台/12h → 2,472 台/12h と 332 台減少した。(12%減)



○上田辺町3号線の車両通行止めにより、周辺交差点の交通量は増加するが、交差点処理能力に問題はない。



調査日：実験前 平成 25 年 10 月 2 日 (水)
 実験中 平成 26 年 6 月 10 日 (火)

No.	交差点名称 (仮称)	交差点需要率		交差点 処理能力
		実験前	実験中	
5	予備校前	0.229	0.292	問題なし
6	阪急高架西	0.512	0.488	問題なし
7	阪急高架東	0.215	0.249	問題なし
8	出屋敷通り東	0.242	0.236	問題なし

※需要率が 1.0 を上回ると、交差点の交通量を捌くことが不可能

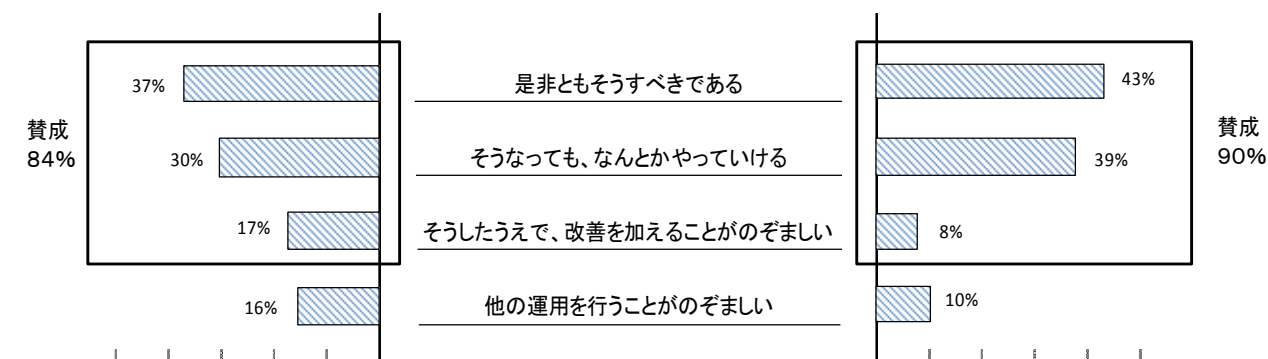
2. 3 住民・事業所アンケート調査

○調査概要

項目	概要
目的	交通社会実験中の地域住民の日常生活や事業活動への影響の把握
期間	配布：6月6日（金）～ ，回収：7月4日（金）着まで有効
対象エリア	明田町、上田辺町、紺屋町
配布・回収方法	配布：自治会による配布、市職員によるポスティング ，回収：郵送
回収率	27.1% （回収 364 通 / 配布 1,342 通）
結果概要	①上田辺町3号線の歩行者専用道路化については、84%が賛成 ②上田辺町1号線の西行き一方通行規制については、90%が賛成

[上田辺町3号線の歩行者専用道路化]

[上田辺町1号線の西行き一方通行規制]



2. 4 調査結果のまとめ

- ・交通量調査結果によれば、周辺交通は増加したが、交差点処理能力に問題はない
- ・アンケート調査からは、歩行者専用道路化等に賛成が8割以上



○上田辺町3号線

- ・新たな西口改札の設置に併せて歩行者専用道路化を実施する。今年度は設計を進めると共に、工事着手に向けた地元・関係機関協議に取り組む。

○上田辺町1号線

- ・地元自治会からの強い要望である西行き一方通行規制は、地元と調整しながら進めていく。